

独立行政法人国立高等専門学校機構の令和5年度業務実績に関する評価結果を踏まえた業務運営の改善等への反映状況

中期目標(中期計画)	令和5年度業務実績評価における指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策等	左記の指摘等を踏まえた令和6年度の改善の状況
I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		
1. 教育に関する目標	-	-
(1) 入学者の確保	<p><指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策></p> <p>○複数高専間での追選考制度の導入、女子学生の増加など、全体としては取組の効果が見られているが、定員割れとなっている高専もある事から各高専の事情に応じた取組と機構本部全体での取組の両面を効果的に検討する必要がある。</p>	<p>中学校までの学びと高専教育のシームレスな学びの実現、ひいては女子学生の増加を含む優秀な学生の確保に繋げることを目指し、高専における早期STEAM教育特別選抜の導入を促進するための基本的指針となる理事長裁定を策定した。また、志願者確保が困難な地域の高専に対しては、外部機関主催の入試広報イベント参加費用支援を行っている。今後は、定員割れとなっている地域における志願者数等のデータを利用した各種要因分析や、二次募集実施校・地域事情に応じた志願者確保の取組みなどについての個別ヒアリングなどを通じて、対策を検討する。</p>
	<p><その他事項></p> <p>-</p>	-
(2) 教育課程の編成等	<p><指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策></p> <p>-</p>	-
	<p><その他事項></p> <p>○能登半島地震対応に関し、石川高専学生のメンタルケア、修学支援関連対応を迅速に行ったことは評価できる。</p>	今後の被災時にも同様に支援を行う予定である。
(3) 多様かつ優れた教員の確保	<p><指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策></p> <p>-</p>	-
	<p><その他事項></p> <p>-</p>	-
(4) 教育の質の向上及び改善	<p><指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策></p> <p>-</p>	-
	<p><その他事項></p> <p>-</p>	-

独立行政法人国立高等専門学校機構の令和5年度業務実績に関する評価結果を踏まえた業務運営の改善等への反映状況

中期目標(中期計画)	令和5年度業務実績評価における指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策等	左記の指摘等を踏まえた令和6年度の改善の状況
(5) 学生支援・生活支援等	<p><指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策></p> <p>○成績不振による原級留置者数や退学者数の改善に取り組んでいるところであるが、学力定着のために高専全体で一層の分析と対策に取り組むこと。</p>	<p>成績不振による原級留置者数や退学者数の改善として、「進級要件や科目履修等の弾力化(仮進級や科目履修の順番の柔軟化等)により学修意欲の継続を後押しすること」「サポートが必要な学生への早期対応」「教員間の情報共有、授業方法改善に向けた研修を充実すること」を実施しており、今後、「各高専が行う調査項目やアンケート等の内容を精査、改善し、全国的な視野で問題点の把握、分析や対策につなげやすくすること」を行う予定である。</p> <p>また、これまで民間の学習支援コンテンツを活用してきた学校もあるほか、一部の学校で高専教育に特化(MCCに準拠)した学習支援コンテンツを試行しており、これによる学力定着等への教育的効果を踏まえ、他の国立高専への案内も検討することとしている。</p>
	<p><その他事項></p> <p>-</p>	-
2. 社会連携に関する目標	<p><指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策></p> <p>○産業界や地域社会のニーズを踏まえた産学連携活動を推進しているところであるが、教員の負担に配慮しつつ、継続性を高める事業運営(適正な対価の設定等)に一層留意して、外部資金等の自己収入の拡充を図ることを期待したい。</p>	<p>高専の研究活動を定量的に把握し、研究・産学連携推進本部の活動に活かしていくため令和6年度にIRチームを研究推進本部に設置した。令和6年度の活動として競争的研究費に関する情報収集等を迅速かつ的確に行い産業界や地域社会のニーズを踏まえた研究・産学連携活動を推進する。加えて、教員の負担に配慮しつつ、支援の効果、効率の継続的向上を図り外部資金等の自己収入の拡充を目指して活動しているKRAの活動も推進することで、教員負担への配慮と外部資金等の自己収入の拡充を図る。</p>
	<p><その他事項></p> <p>-</p>	-
3. 国際交流に関する目標	<p><指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策></p> <p>-</p>	-
	<p><その他事項></p> <p>○前中期目標期間中の平均値を上回って留学生を受け入れており、今後も受入数の増加が予測される中、在籍管理という視点のみならず、怠業ケアのための取組も積極的に進めていくべきではないか。</p>	<p>高専においては、授業への出席管理を厳格に行うとともに、規定回数以上の授業の欠席は単位を取得することができない。また、本科5年生まで担任制を敷いており、授業への出席状況は常に厳格に確認されている。加えて、全国に留学生(支援)ブロック拠点校を6校設置し、ブロック単位での外国人留学生に対する日本語教育支援の実施やノウハウ・課題解決方法の共有など、留学生の怠業防止・解決につながる取組を積極的に進めている。</p>
II. 業務運営の効率化に関する事項		
1. 一般管理費等の効率化	-	-
2. 給与水準の適正化	-	-
3. 契約の適正化	-	-

独立行政法人国立高等専門学校機構の令和5年度業務実績に関する評価結果を踏まえた業務運営の改善等への反映状況

中期目標(中期計画)	令和5年度業務実績評価における指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策等	左記の指摘等を踏まえた令和6年度の改善の状況
Ⅲ. 財務内容の改善に関する事項		
	<p><今後の課題></p> <p>○産業界や地域社会のニーズを踏まえた産学連携活動を推進しているところであるが、教員の負担に配慮しつつ、継続性を高める事業運営(適正な対価の設定等)に一層留意して、外部資金等の自己収入の拡充を図ることを期待したい。</p>	<p>高専の研究活動を定量的に把握し、研究・産学連携推進本部の活動に活かしていくため令和6年度にIRチームを研究推進本部に設置した。令和6年度の活動として競争的研究費に関する情報収集等を迅速かつ的確に行い産業界や地域社会のニーズを踏まえた研究・産学連携活動を推進する。加えて、教員の負担に配慮しつつ、支援の効果、効率の継続的向上を図り外部資金等の自己収入の拡充を目指して活動しているKRAの活動も推進することで、教員負担への配慮と外部資金等の自己収入の拡充を図る。</p>
	<p><その他事項></p> <p>-</p>	<p>-</p>
Ⅳ. その他業務運営に関する重要事項		
1. 施設及び設備に関する計画	<p><今後の課題></p> <p>-</p> <p><その他事項></p> <p>○女子学生配慮のための校舎等の設備整備、その他環境整備は、高専への入学希望者、保護者等への訴求のため必要であり、今後も着実な取組を期待する。</p>	<p>-</p> <p>校舎、実習工場、学生寮等の整備に合わせて、女子学生等の利用に配慮した施設となるよう、女子トイレの整備などの環境改善を継続的に行っている。また、老朽化した女子寮等の環境改善整備を行うとともに、女子学生の寮室不足を解消するための整備等を継続的に行っている。令和6年度も、これらの取組を引き続き実施するとともに、校舎等の老朽化の解消と併せた学生同士の交流空間やラーニングスペース等の整備、学生主体によるキャンパス環境の整備等を通じて、女子学生を含めた全ての入学者や在学生、高専への入学希望者、保護者等にとって魅力あるキャンパス環境の整備を実施していく。</p>
2. 人事に関する計画	<p><今後の課題></p> <p>-</p> <p><その他事項></p> <p>-</p>	<p>-</p>
3. 情報システムの適切な整備・管理及び情報セキュリティについて	<p><今後の課題></p> <p>-</p> <p><その他事項></p> <p>-</p>	<p>-</p>
4. 内部統制の充実強化	<p><今後の課題></p> <p>-</p> <p><その他事項></p> <p>-</p>	<p>-</p>